

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3608 URL <http://www.tsi-holdings.com>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)三宅 正彦
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部副本部長 (氏名)大石 正昭 (TEL)03(5213)5516
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	133,974	△2.4	△79	—	1,880	53.3	591	340.6
25年2月期第3四半期	137,208	39.9	△20	—	1,226	—	134	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 8,870百万円(—%) 25年2月期第3四半期 274百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第3四半期	5	31	—	—
25年2月期第3四半期	1	16	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
26年2月期第3四半期	191,954	120,587	120,587	120,587	61.9	
25年2月期	183,905	120,287	120,287	120,287	64.3	

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 118,913百万円 25年2月期 118,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
25年2月期	—	0 00	—	17 50	17 50
26年2月期	—	0 00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	17 50	17 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	179,000	△3.5	△1,800	—	200	△79.8	500	—	4	64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	115,783,293 株	25年2月期	115,783,293 株
26年2月期3Q	8,004,737 株	25年2月期	3,794 株
26年2月期3Q	111,377,994 株	25年2月期3Q	115,780,012 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年11月30日まで)における我が国経済は、金融緩和や緊急経済対策に伴う公共投資拡大等の経済政策に加えて新年度に予定されている消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もあり、景気は緩やかに回復しつつある一方、中国を中心とするアジア経済の成長ペースの鈍化や円安・原油高に伴う原材料価格上昇の動きもあり、先行きに不透明感の残る状況となりました。

アパレル業界においては、一部の高額商品などに売上の回復傾向が見られたものの、消費者の先行き不透明感や台風などによる10月の天候不順から、回復の動きは極めて緩やかなものとなりました。

このような経営環境を踏まえ当社グループは、平成24年4月に策定した中期経営計画を平成25年4月に見直し、不採算店舗の閉鎖による収益向上を図ると同時に売上拡大に向けた新ブランドの開発と新規出店を積極的に進めました。

その結果、売上高は1,339億74百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

損益面では、営業損失は79百万円(前年同四半期は20百万円の営業損失)となり、経常利益は18億80百万円(前年同四半期比53.3%増)となりました。

また、投資有価証券売却益及び固定資産売却益等による46億32百万円の特別利益を計上する一方、固定資産除却損及び投資有価証券売却損等による22億34百万円の特別損失や、法人税等合計33億70百万円の計上もあり、当社グループの四半期純利益は5億91百万円(前年同四半期比340.6%増)となりました。

セグメント別の売上の概況は次の通りです。

(東京スタイルグループ)

㈱東京スタイルは、前期より実施している構造改革の一環である事業整理に目途がついたことから、攻めの政策として新たなブランド開発と販路開拓に積極的に取り組み、今秋冬物よりショッピングセンター向け戦略ブランドとして30代、40代の女性を対象にした新ブランド「アリスミュー」の販売を開始しました。

また、Web事業拡大戦略の一環として、インターネットと実店舗の在庫一元化を目指し、新ブランド「ウィ、アヤノ リュバン」のWeb販売を開始するとともに、東京・表参道に路面店を開設し、O2Oのビジネスモデルの確立を図りました。

一方で「ナノ・ユニバース」や「ステューシー」「アプワイザー・リッシュ」などオリジナリティーのあるブランドを有するグループ各社は、Web販売の伸長や新業態への積極的な取り組みにより、引き続き事業基盤の拡大を推し進め、好調を維持しています。

これらの取り組みにより、東京スタイルグループの売上高は603億42百万円(前年同四半期比0.6%増)となりました。

(サンエー・インターナショナルグループ)

㈱サンエー・インターナショナルにおける企画力及び営業力の強化並びに経営のスピードアップを目的として事業組織全体を統括する事業統括セクションを設置する一方、「フリーズマート」を㈱FREE'S INTERNATIONALへ移管することにより事業の集約及び強化を図りました。また、新たに「Happy Sunny Life」をコンセプトに、ハイセンスで上質なカリフォルニア ボーホスタイルを提案するライフスタイルセレクトショップ「プラネットブルーワールド」を日本で初めて出店したほか、「パーリーゲイツ」の新業態店舗として「パーリーゲイツ ザ グリーン ゴルフストア」をスタートしました。

一方で下期からは、当社グループで鋭意進めているコスト構造改革の総仕上げとして、低収益店舗及びブランドの撤退を進めることによるブランドポートフォリオの再構築を図りました。

これらの取り組みにより、サンエー・インターナショナルグループの売上高は734億89百万円(前年同四半期比4.8%減)となりました。

(その他)

持株会社である当社及び当社グループの生産、物流機能を担う㈱TSI・プロダクション・ネットワ

ークの事業により、売上高は54億92百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成25年11月30日)	増減
総資産	183,905	191,954	8,048
負債	63,618	71,367	7,748
純資産	120,287	120,587	299
自己資本比率	64.3%	61.9%	△2.4%
1株当たり純資産	1,021.78円	1,103.31円	81.53円

総資産は、現金及び預金の減少（前期末比84億10百万円減）、有価証券の減少（前期末比3億98百万円減）、未収入金の減少等による流動資産「その他」の減少（前期末比8億91百万円減）等があったものの、受取手形及び売掛金の増加（前期末比53億60百万円増）、たな卸資産の増加（前期末比69億57百万円増）、投資有価証券の増加（前期末比30億52百万円増）、投資不動産の増加等による投資その他の資産「その他」の増加（前期末比28億41百万円増）等により、80億48百万円の増加となりました。

負債は、未払法人税等の減少（前期末比15億10百万円減）、未払消費税等の減少等による流動負債「その他」の減少（前期末比14億26百万円減）等があったものの、支払手形及び買掛金の増加（前期末比57億71百万円増）、賞与引当金の増加（前期末比6億67百万円増）、繰延税金負債の増加等による固定負債「その他」の増加（前期末比38億13百万円増）等により、77億48百万円の増加となりました。

純資産は、利益剰余金の減少（前期末比14億34百万円減）、純資産の控除項目である自己株式の増加（前期末比57億81百万円増）等があったものの、その他有価証券評価差額金の増加（前期末比74億73百万円増）等により、2億99百万円の増加となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は、自己株式の取得等を含めて81.53円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月11日に発表しました平成26年2月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成26年1月14日）発表の「通期業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失は168百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ168百万円増加しております。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,248	30,837
受取手形及び売掛金	12,937	18,297
有価証券	2,617	2,219
商品及び製品	19,317	26,587
仕掛品	621	320
原材料及び貯蔵品	206	194
その他	6,245	5,354
貸倒引当金	△719	△807
流動資産合計	80,475	83,004
固定資産		
有形固定資産	19,999	19,461
無形固定資産		
のれん	3,237	2,960
その他	3,092	3,287
無形固定資産合計	6,330	6,247
投資その他の資産		
投資有価証券	56,056	59,109
その他	21,541	24,383
貸倒引当金	△497	△251
投資その他の資産合計	77,101	83,241
固定資産合計	103,430	108,949
資産合計	183,905	191,954
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,759	25,531
短期借入金	3,983	4,082
1年内返済予定の長期借入金	3,152	3,318
未払法人税等	2,548	1,037
賞与引当金	1,343	2,010
ポイント引当金	416	458
株主優待引当金	17	9
返品調整引当金	319	502
資産除去債務	94	125
その他	10,943	9,517
流動負債合計	42,580	46,593
固定負債		
社債	32	11
長期借入金	9,405	9,310
退職給付引当金	1,464	1,390
役員退職慰労引当金	912	889
資産除去債務	2,279	2,415
その他	6,944	10,757
固定負債合計	21,037	24,773
負債合計	63,618	71,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	70,956	70,956
利益剰余金	24,973	23,538
自己株式	△1	△5,783
株主資本合計	110,927	103,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,288	14,762
繰延ヘッジ損益	12	15
為替換算調整勘定	72	424
その他の包括利益累計額合計	7,373	15,201
新株予約権	272	246
少数株主持分	1,713	1,427
純資産合計	120,287	120,587
負債純資産合計	183,905	191,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	137,208	133,974
売上原価	65,946	63,860
売上総利益	71,261	70,114
販売費及び一般管理費	71,282	70,194
営業損失(△)	△20	△79
営業外収益		
受取利息	417	626
受取配当金	392	339
為替差益	82	215
投資有価証券評価益	420	5
デリバティブ評価益	58	521
その他	462	591
営業外収益合計	1,834	2,300
営業外費用		
支払利息	184	111
店舗等除却損	80	65
貸倒引当金繰入額	161	△37
減価償却費	64	64
その他	95	136
営業外費用合計	586	340
経常利益	1,226	1,880
特別利益		
固定資産売却益	454	1,257
投資有価証券売却益	496	2,965
関係会社株式売却益	2,750	—
新株予約権戻入益	—	25
その他	125	383
特別利益合計	3,827	4,632
特別損失		
固定資産除却損	143	579
減損損失	71	342
投資有価証券売却損	180	420
投資有価証券評価損	1,352	312
関係会社株式売却損	—	308
関係会社株式評価損	619	—
関係会社整理損	152	—
早期退職関連費用	525	—
解約補償金	128	—
その他	166	272
特別損失合計	3,339	2,234
税金等調整前四半期純利益	1,714	4,278

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
法人税、住民税及び事業税	2,406	4,023
法人税等還付税額	—	△137
法人税等調整額	△1,235	△515
法人税等合計	1,170	3,370
少数株主損益調整前四半期純利益	543	908
少数株主利益	409	316
四半期純利益	134	591

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	543	908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△236	7,476
繰延ヘッジ損益	△1	3
為替換算調整勘定	△31	520
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△37
その他の包括利益合計	△269	7,962
四半期包括利益	274	8,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△137	8,422
少数株主に係る四半期包括利益	411	448

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	東京スタイ ルグループ	サンエー・ インターナ ショナルグ ループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	59,912	77,164	137,077	99	137,176	31	137,208
セグメント間の 内部売上高又は振替高	56	31	88	4,497	4,585	△4,585	—
計	59,968	77,196	137,165	4,596	141,762	△4,554	137,208
セグメント利益又は損失(△)	△1,135	1,531	396	3,585	3,981	△4,002	△20

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、持株会社である当社等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,002百万円は、連結会社間の内部取引消去額です。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行なっております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社グループ全体の生産、物流機能を統合するため、当第3四半期連結会計期間において、(株)サンエー・インターナショナルの連結子会社である(株)サンエー・プロダクション・ネットワークは、当社の直接所有による連結子会社となるとともに、商号を(株)TSI・プロダクション・ネットワークに変更しております。

これにより、当該事業に関するセグメント区分を、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントから「その他」に変更しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において51百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗及び営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において32百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	東京スタイ ルグループ	サンエー・ インターナ ショナルグ ループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	60,268	73,445	133,713	261	133,974	—	133,974
セグメント間の 内部売上高又は振替高	73	44	117	5,231	5,349	△5,349	—
計	60,342	73,489	133,831	5,492	139,324	△5,349	133,974
セグメント利益又は損失(△)	117	△350	△232	2,166	1,933	△2,013	△79

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、持株会社である当社等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,013百万円は、連結会社間の内部取引消去額です。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行なっております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社グループ全体の生産機能を統合するため、当第3四半期連結会計期間において、(株)東京スタイルの連結子会社である(株)TSIソーイングは、当社直接所有の連結子会社である(株)TSI・プロダクション・ネットワークの子会社となりました。

これにより、当該事業に関するセグメント区分を、「東京スタイルグループ」セグメントから「その他」に変更しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において174百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において168百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年4月12日及び平成25年7月12日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、東京証券取引所における市場買付の方法により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,781百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は、5,783百万円となっております。